

## 表紙の写真

アイレック技建㈱は「こわさなくても未来はつくれる」を合言葉にNO-DIG 総合エンジニアリング企業として「掘らない、壊さない、環境に優しい」技術を追求し、社会インフラマネジメントの一翼を担うソリューションサービスを提供し続けていきます。

非開削推進技術についても、インフラ構築だけではなく、新たな災害対策分野へも挑戦しています。



アイレック技建㈱

## 目次

3	●写真速報	一般社団法人 日本非開削技術協会第17回通常総会を開催／第15回ITTC (中国非開削技術会議)／第32回非開削技術講演会 (2025年) を開催／中国温州省視察団 来訪／下水道展'25大阪／第6回香港マカオ粤港澳大湾区非開削フォーラム2025	
7	●特集／小口径管路の非開削建設技術		
8	●特集のねらい	アイレック技建㈱ (機関誌編集委員)	森 治郎
13	・独自の技術で長距離・曲線推進を実現し続けるエースモール工法	アイレック技建㈱非開削推進事業本部営業部	石川 巧太
18	・高水圧で砂礫玉石層を施工する「ラムサス-S工法」	サン・シールド㈱工事部	中橋 尚也
26	・曲線施工で力を発揮するジャット工法	ジャット協会広報委員	羽部 孝信
32	・掘進機 (先導体) 位置推定装置Sリードによる施工事例とその検証	アースナビ推進工法協会技術委員長／㈱ジェイアール総研情報システム計測システムプロジェクトマネージャー	田村晋治郎
36	・ユニコーンDH-ES工法による小口径管推進工法の活用事例	ユニコーンES工法研究会事務局長	小島 功
42	・ベル工法 ～硬質塩化ビニル管長距離曲線推進～	馬淵建設㈱ベル・ミクロ工法協会技術委員長	保立 尚人
46	・二重管ケーシング方式による非開削での管路敷設 (SH工法・SHミニ工法)	SHスーパー工法協会技術員	篠木 拓哉
50	●投稿		
52	LバンドSARと地下漏水の検出	アステラ日本・韓国地域マネージャー アステラR&Dプログラムマネージャー	Yuval Halevi Yael Fraenkel
58	●談話室		
62	美しきセブ島の穏やかな時間	管清工業㈱	セドリック・アル・アリバ
65	●学生記者シリーズ		
68	第4回 地下探査技術講習会に参加して	九州大学大学院工学部地球資源システム工学専攻岩盤・開発機械システム工学研究室	黄 明彦 藤井 花帆
72	●国内イベント報告		
75	・つくばフォーラム2025 取材メモ		機関誌編集室／事務局
78	・OYOフェア2025 参加報告	(公財)深田地質研究所理事・上席研究員 (機関誌編集委員)	鈴木 敬一
82	・メンテナンス・レジリエンスTOKYO2025 取材メモ		機関誌編集室／事務局
85	・下水道展'25大阪 取材メモから		機関誌編集室／事務局
88	●知って得するシリーズ バスのあれこれ		
91	第16編 寝台バスの旅	川崎地質㈱大谷石採取場跡地観測所	大村 猛
95	●2024年度 非開削技術表彰 —受賞者の声—		
98	機関誌「非開削技術」技術報告表彰 [最優秀賞]	(株)カナン・ジオリサーチ	篠原 潤
100	[優秀賞]	オールライナー協会	谷田 幸治
	[優秀賞]	芦森工業㈱	寺嶋 陽一
	[優秀賞]	フジ地中情報㈱	長畑 拓也
	[最優秀賞]	(株)アルファシビルエンジニアリング	藤岡 祐 貞永 桂子
	第35回 非開削技術研究発表会表彰		
93	●事務局報告		
95	第32回 非開削技術講演会を開催しました	(一社)日本非開削技術協会事務局長	榎 克実
96	●UP DATE		
99	●Back Number		
100	●委員会		
	●編集後記	エクシオグループ㈱土木事業本部土木営業部門担当課長 (機関誌編集委員)	河西 一嘉

※特集および投稿記事は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。